



ぶどうの枝

2016年
春号

青年会ハンドベル活動をご紹介します

千葉キリスト教会 青年会

昨年1月より発足した、青年会ハンドベルの活動をご紹介します。

まず、立ち上げた経緯は、求道者や、教会から離れている若い人達が、教会との接点を作りたいと思ったのがきっかけです。実際、私の同世代にはクリスチャンでありながらも様々な事情で教会から離れている状況です。また教会へ足を運ぼうと思っても、行く動機が無いと二の足を踏んでしまうのではないのでしょうか。教会の活動で若い人たちが中心となって音楽活動をしていることは魅力であると私は考えていて、音楽を通じて神様との出会いになること、また、教会の特色として他教会との交流、特に若い人たちにに向けて発信できると考えています。

私は学生時代、ハンドベルの活動に長く携わってきました。仕事を始めた関係で1度は辞めてしまいましたが、神様から与えられたタラントを、教会のために用いて行きたいと思い、小さい頃から関わってきた青年の人たちに声をかけることにしました。すると、面白い、ぜひやってみたい、音楽が苦手でもできるかな、等の声が上がリ、立ちあげる原動力になったのは間違いありません。

続いて、楽器の紹介をいたします。厳密にいえば、トーンチャイムと呼ばれる楽器を使用しています。起源はハンドベルと言われる楽器の簡易版と言われ、棒状の筒を手で持って鳴らし、音を響かせる楽器となっています。

当教会が保有しているのは全部で3オクターブ、39本のチャイムを持っています。今は人数の関係で2オクターブを使っています。10人の若人たちが毎月2回の練習をめざして練習に励んでいます。

昨年のクリスマス会では、はじめてコンサート形式での演奏を皆さんの前で演奏する機会が与えられました。本番に向けて練習に励んできて、難しい曲に対しても、できない部分を皆で補い合い、曲を作り上げた達成感を感じることができました。

これからも、神さまと共にあることを常に心にとめて、賛美の心を持って活動に取り組んでいこうと思います。興味があれば、みなさんも声をかけてくださいね！（吉田 翔 記）



2015年12月19日（土）のクリスマス会で素晴らしい演奏をしてくださった、青年会ハンドベルチームの皆様。（左の写真は練習風景）

心に安らぎをいただき幸いです

千葉キリスト教会 渡邊 睦子

私は小さい頃から再臨の話やハルマゲドンの話などは耳にタコが出来るほど聞かされていました。そして終戦の時、会堂がなくてやっと四街道の聖書農学園の中に私の所属する教会の会堂が出来まして、そこに行くのに交通の便がなくて、馬車をチャーターして伯母たちや子供たちを乗せて礼拝に通ったことが有ります。その後は伯母の幼稚園での集会でした。

子供の頃の思い出としては私の家の台所に井戸が有って、お風呂の水などは井戸の水をそれぞれ100回位姉妹と交替で汲んで水を満たしました。

そして水道ができて井戸を閉めることになったとき教会の牧師さんをお呼びしまして井戸を埋めたんですけれど、その時に旧約と新約の聖書を井戸の中に埋めて土をかぶせました。長いこと家族の命を支えてくれた水なのだから疎かには出来ないと言うことでお祈りしたのですが、ああこういう風な始末の仕方があるんだなと、いまだに当時のことを記憶に留めております。

それから高校のころでしたかしら、土曜日がお休みになったのです。それで土曜日に暇が出来ましたもので、割と近い葛城町

にセブンスデーアドベンチストの最初の教会が出来まして、山形先生がお説教なさっていました。そこに1年か1年半くらい通った記憶が有ります。それでまた母の教会に戻ってしまいました。その後20歳の時に洗礼を受けました。今回また2度目の洗礼を受けました。本当に良かったなと心から思っております。

夫は大変かたくなな人でして、キリスト教は絶対許さないよと言う感じでした。

そんな訳でして長いこと教会から離れていたのですけれども、夫の没後（本年で13年）、体操教室で井本さん、根本さんに出会いまして、食事会に参加しないかとお誘いを受けまして、ここの食事会に出席しているうちに、なんだか礼拝にも出たくなりまして、礼拝に何回か通っている内に、「ああ私の故郷はここなんだわ」と思い始めました。こう言う風に心に安らぎを得まして幸いだったと思います。教会員にさせて頂いて有難うございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

（2015年11月21日〈土〉の「バプテスマ式」における証しより。）



すべてに感謝

千葉キリスト教会 岡本 富子

今日は貴重な時間を私のために有難うございます。私は生まれが北海道の日高・静内町と言う所で小学校低学年の時に林 亮さんご一家が、亮さんの父上が高等学校の国語の先生だったものですから、赴任していらして、私の方の父も高等学校に勤めていたものですから、その社宅やら住まいがすぐ近くだったんですね。そうしましたら亮先生の母上が日曜学校をしているから遊びに来ないと言われまして、私たち兄妹二人で行きました。そうしましたら、そこで初めてセブンスデーアドベンチスト教会と言うところを知りましたし、イエスキリスト、神様とかいろいろ学ぶことができました。クリスマスなんかイエス様の誕生から寸劇をしたり、それから亮先生の妹さんのまさ子さんから讃美歌を習ったりして、とても楽しい小学校時代を過ごすことができました。

中学に入りましてからは、なかなか行けなくなりましたが、23歳のとき縁があり東京にお嫁に来まして、東京には1年ぐらいおりました。それから船橋へ来まして、また拔群の郡と言われる印旛郡の四街道町へ引っ越してきましたら寒い春だったんですが、山口さんが文書伝道にみえて、そこでまた素晴らしい出会いが有りまして千葉教会にも子供と一緒に来たことが有るんです。古い教会だったんですが多分その時は都賀から歩いて来たように思うんですね。でもすごい感じが良かったです。その時も何か遠のいてしまいました。学校の事やら、新設校に子供が行ってたものですから、いろいろ問題が有りまして、給食の問題から児童館のこととか環境のことでいろいろ飛び回ってまして、そのうちに叔父と叔母の介護も入りまして、教会とはずーっと遠のいてきちゃいました。でも山口さんとは年賀状を頂いてまして、もう70代になり、まだ、もたもたしている自分を見て、私もこれではいけないと思ひましてね、安息日を大切にしたいということをお手紙で出しましたら、すぐお手紙を頂いて、じゃー教会に行きましょうと言うことで来るようになりました。

叔父と叔母を介護しているとき、船橋だったので通わなくちゃいけなかったんで夢中で免許を取りまして、もう50代近かったんですが免許を取りまし

たので、じゃー千葉教会へは行けるかなと思ひましてそれから来れるようになったんです。

来ましたら村田さんがおられて、聖書が難しいという事があったんですが、とても易しく噛み砕いていろいろな教本も使い話して頂いている時、村田さんが体調を崩しちゃって、わーどうしようかと思ひてましたら金田寛子さんが引き継いで下さいました。何でも聞いてくださいと言って、私はいやこうでなければいけない、あーでなければいけないと言う変な考えでいましたし、健康でいられるのは両親が丈夫に産んでくれたからだと言う何か変な思い上がりがあった私をきちんと諭して頂き、これはいけないと思いました。

それから加藤さんからもお手紙を頂いて、洗礼を受けるのは本当に通過点なので、みんな家族として受け入れられますから、そんなに焦らずにと言うお手紙頂いて決心することが出来ました。

家族は男の子二人と主人、主人は東京生まれでこう言う田舎へ来たのはとても寂しかったらしいんです。子供を育てるにはとても良い環境だったものですからこの四街道で山口さんとも出会えたのが素晴らしい出会いで、この団地で自然食をやりました伊達さんとも出会うことが出来て、素晴らしい玄米菜食の教室も立ち上げることが出来まして今36年間続いております。

私はその自分の健康のためにはいろんなことを努力しなくちゃいけないと言うぶきっちょな割には努力して水泳・ゴルフ・マラソン・テニスとかいろいろやって、これは自分の努力でこう言う健康でいられるんだという変な思い上がりで聖書を読んできましたが、やはり神が宿る体を健康にしておかなければということですし、これはもうそういう自分の努力だけではなくて周りの人達の支えが有ってこのように保たれているんだと思って感謝しながら、いろんな人の廻りあわせを感謝しながら、こんな私ですが家族として受け入れてくださいますよう、宜しくお願いします。努力致します。有難うございました。

(2015年11月21日〈土〉の「バプテスマ式」における証しより。)

2016年の児童伝道

千葉キリスト教会 児童伝道部

今年で児童伝道を引き受けて4年になります。

家庭でも教会でも子供の世話をするのには非力な故、いささか重い責任を感じましたが選びたくない道でも、選ばざるを得ず、神のみ約束を信じ感謝し承諾することになりました。

現在、安息日学校・児童クラスでは小学6年生から年長までの子供が出席しており、平均出席者は9名～11名程の定時出席者でまとまっています。それもそのはずで、保護者のそのほとんどが児童伝道の担当者だからです。千葉教会では子を持つ親は無条件的に児童伝道の担当ということになっています。家族が増え楽しいことも嬉しいことも増えますが、子育ては大変です。恵まれたことに千葉教会の児童伝道を任されたスタッフは全員協力的で信仰的で明るく、献身的であり、その働きにはいつも頭が下がる思いです。

教会での児童伝道プログラム作成の際、話し合いで必ず出るキーワードがいくつかあります。

- ・「将来の千葉教会」
- ・「親も楽しめる」
- ・「ルール」
- ・「まだ教会にきていない〇〇さん」
- ・「エコ・節約」
- ・「声を掛ける」

子供達はもちろん、同席する大人も、まだ教会に出席していない人も楽しめるプログラムを作成し、ルールを決めることにしています。神の道を選び、子供達が将来、千葉教会をはじめ、どこでも活躍できる青年になってほしいと私達は願っています。

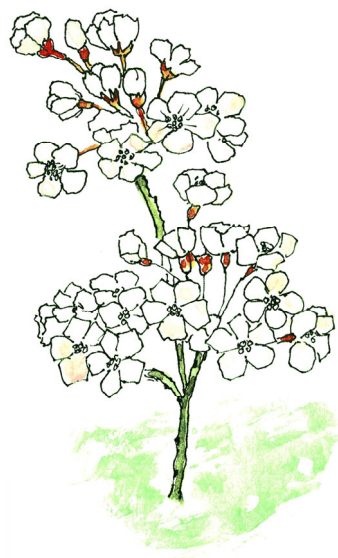
す。私は児童伝道のあり方、方向性をそのように考えています。

ママ達の思いが一つになり、話し合いができる時間は、本当に楽しく祝福されていると感じます。子育てで苦労しているのは自分だけではないと、荷が下せる時間でもあります。行事の際は友人、家族、知人をそれぞれが誘うため、話し合いも持たれています。児童伝道のプログラムが教会に来るきっかけになればと思っています。

プログラムを精一杯作るのは親達ですが、それを最大の祝福に変えるのは神の力です。

2016年も子供達のための行事を用意することになります。残念なことに私の力は有限ですが、千葉教会の児童伝道スタッフの心強い協力のもと、児童伝道が神に祝福され、無限なものにして頂けるよう祈りつつ、感謝しながら神と共に前進してゆきたいと考えています。

(Y・H記)



心豊かなクリスマスコンサート

千葉キリスト教会 聖歌隊（コワイヤー）

2015年12月20日（日）千葉教会礼拝堂にてクリスマスコンサートが、地域の方々を中心に100名をこえる参加者があり、盛会のうちに終わりました。

コンサートは“神の御子は今宵しも”の会衆一同の賛美で始まり、この日のために結成された千葉教会クリスマスコワイヤーの美しいクリスマスの調べは、清らかな中にも、力強く会堂に響き渡り、イエス様のお誕生をお祝いいたしました。

お招きした四人の演奏者（ホルン 加藤潤一さん、フルート 太田香織さん、チェロ 森大地さん、ピアノ 木田左和子さん）の素晴らしい演奏も加わり、とても恵まれたクリスマスコンサートとなりました。とりわけホルン、フルート、

チェロの演奏の中で、シューベルト、カッチーニ、グノーの三人の作曲家による“アヴェ・マリア”を興味深く聞けることが出来ました。またピアニスト木田左和子さんのショパンの演奏には魂を揺さぶられる想いが致しました。

そして心高まる中、“オーホーリーナイト”を全員で賛美し、満たされた思いのうちに閉会となりました。

終了後の茶話会では、お招きした演奏者はじめ、多くの参加者が、美味しいケーキとクッキーをいただき、楽しいお交わりのひとときを持ちました。

これからも千葉教会聖歌隊（コワイヤー）ならではの、心豊かなクリスマスコンサートを目指して頑張っていきたいと思います。（酒井 紀子記）



フルートとチェロの演奏

イエス様のお誕生を祝い賛美する
千葉教会クリスマスコワイヤー



地域に根ざした活動を推進したい

千葉キリスト教会 家庭部・女性部副部長 村田由美子

私たち家庭部・女性部は、今年も近隣の方々とのまじわりを通して、教会の門戸を広く開き、敷居を低くする事を願い、未信者の方々と親しむ中で、キリストの心を伝える「土の器」となれるように、2016年の計画を立てさせていただきました。

昨年の経験から、希望の多かったものを取り入れた「菜食料理教室」や、現代の複雑かつ困難な時代に子育てをしている若いママさんへの応援として「子育て支援座談会」、高齢化社会を生き抜く世代への応援として「介護予防教室」などを予定しております。

より多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【菜食料理講習会】

☆毎月第一月曜日午前10時から。

☆千葉教会集会室で行います。

【子育て支援座談会】

☆7月16日（土）午後から。

☆千葉教会4階母子室で行います。

【介護予防教室】

☆日程調整中です。

【SDA教団女性部セミナー】

☆「エズラ、ネヘミア記を学ぶ」です。

☆毎月第三水曜日、SDA東京中央教会にて行われます。



2016年1月4日（月）今年最初の「菜食料理教室」の集合写真です。



地域の高齢者の方々に配食した「菜食料理教室」のお弁当です。



「クリスチャン」

千葉キリスト教会 安息日学校長 渡邊 邦男

私は、神様が生きておられ、私たちに特別の関心を持っており、極めて情愛の念をもって私たちに語りかけていると信じています。

信じているというか、足の爪先から、髪の毛の先に至るまで信じきっている、という表現の方がより近いのではないのでしょうか。

私たち信仰者は、どのような宗教であれ、どのような宗教観を持っていようが、一つの共通点として「祈り」という信仰者としての「行為」を行ないます。

祈りの無い信仰は、〇〇の入っていないコーヒーのようなもの、というより、祈りの無い信仰は、そもそも信仰ではありません。

そして、「自分は信仰を持っていない、無宗教です。」という人も、この「祈り」とまったく無縁であるかという、そうではありません。

なぜなら、誰一人として母親の胎内から出産という、自らの意思と、自然の摂理に基づく厳粛な行為によらずして、この

世に生を受けていない者は存在していないからです。

私の妻は、娘を出産するときは帝王切開でした。このような出産においても、妊娠中の胎内の子の無事の成長を願わない母親がいるのでしょうか？

正直、私は妻のおなかの子が五体満足であれば多少出来の悪い子でもいい、健康な赤ちゃんであってほしいと願っていました。

祈りとは、このような思いや願いがその源泉として存在しているのです。

しかし、この当時の私は信仰を持っていなかったのです。では、その時、私はいったい“誰に”そのような願いや思いを“告げて”いたのでしょうか。

クリスチャンとは、そんな自分の思いや願いを“告げる”相手すなわち神様が“誰”なのか、また、“どのようなお方”であるかを知っているばかりではなく、その神が、その願いや祈りを必ず聞いていてくださる、と信じている人のことなのです。



安息日学校で大人顔負けの素晴らしい「暗唱聖句」をしている小学生です。

3月、4月、5月の行事

◇ こどもの日特別礼拝

☆日時:5月7日(土) 午前10時50分～12時

☆場所:千葉キリスト教会 礼拝堂

☆こどもの日特別礼拝では、子どもの皆様に、天来の祝福とお恵みと豊かなお守りが頂けますように、特別の説教と祈りの時を持ちたいと思います。皆様のお越しをお待ちしております。

◇ シャローム若葉「ふれあいバザー」

☆日時:5月15日(日) 10時30分～13時30分

☆開催場所:シャローム若葉 虹の家、第2デイサービスセンター敷地内(TEL:043-235-4867)

☆各種出店・模擬店など楽しい企画が一杯です。皆様のお越しをお待ちしております。

毎月の定期集会

◇ 菜食料理講習会

☆日時:毎月、第一月曜日に開催します。午前10時～13時

☆場所:千葉キリスト教会 集会室

☆参加費:500円 ☆どなたでもいらして下さい。

◇ 聖書セミナー

☆日時:毎月、第二水曜日に開催します。午前10時30分～11時30分

☆場所:千葉キリスト教会集会室 ☆講師:千葉キリスト教会牧師 小林勝

◇ サンセット・バイブル・カフェ

☆日時:毎月第四土曜日の夕べ開店します。午後5時30分～7時30分

☆場所:千葉キリスト教会 集会室

☆心がほっとする聖書の話、素敵な音楽、楽しいおしゃべりなど、癒しの時間を共に過ごすことができます。軽食とお茶を用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

安息日学校(毎週土曜日)

☆賛美礼拝:午前9:15～9:25

☆聖書の学び:午前9:25～10:40

安息日礼拝(毎週土曜日)

☆千葉キリスト教会:午前11:00～12:00

☆シャローム若葉虹の家:午前9:30～10:10

祈祷会

☆毎週、火曜日夕午後6時及び水曜日朝午前7時30分から祈祷会をしております。

【編集後記】「ぶどうの枝」第2号《2016年春号》をお届けします。未だ2号目ですの
で、行き届かない点多々ありますがお許し下さい。第1号より2ページ増え8ページとなり
ました。SDA千葉キリスト教会を、号を重ねる毎に、より深く知って頂けたら幸いです。

SDA千葉キリスト教会

〒264-0028

千葉市若葉区桜木5丁目15番1号

旧法務局前通り:3、4階 千葉キリスト教会

1、2階 シャローム若葉

電話:043(231)3620

FAX:043(231)1634

Email:sda-chiba@rio.odn.ne.jp

ホームページ:

<http://www2.odn.ne.jp/sda-chiba/>

★発行責任者:

小林 勝 牧師

★スタッフ:

酒井 闊 渡邊 治子

綿引 秀子